

礼拝の再開にあたり

2020年5月31日 聖霊降臨日
奈良基督教会 牧師 司祭 古本 靖久

主のみ名を賛美いたします。

4月16日に全国に拡大された「緊急事態宣言」が奈良を含む39県で解除され、また5月25日には全国すべての都道府県で解除されました。そのことを踏まえ、奈良基督教会では5月31日の聖霊降臨日より礼拝を再開することとしました。

しかし「第二波」、「第三波」への懸念は、多くの専門家から指摘されているところです。東京教区の高橋主教は主教書簡の中で、このように語られています。

「緊急事態宣言」解除は、「安全宣言」発令でも「ウイルス消滅宣言」発令でもありませんし、「自粛要請解除宣言」でもありません。

わたしたちは以前のような生活に、すぐに戻ることはできません。「新しい生活様式」が厚生労働省から提案されましたが、わたしたちは「新しい礼拝様式」、「新しい教会のかたち」を模索していかなければなりません。今までになかった様々な制約が生じるかもしれませんが、「自分のいのちを守る」、「お互いのいのちを守る」こととして理解していただけたらと思います。

まず今週と来週は、み言葉の礼拝をおこないます。聖歌も歌いません。その後の礼拝や集会については、教会委員会で議論していきます。また礼拝は再開いたしますが、移動手段なども含め、礼拝出席に不安のある方は無理をなさらず、ご自宅でお祈りいただきますようお願い致します。インターネットでの配信や紙ベースでの対応など、これまで通り続けてまいりますので、ご安心ください。

最後に、

- ・新型コロナウイルスに罹患された方々のいやしのために。
- ・感染症によって命を失った方の魂の平安、そしてそのご家族の心の慰めのために。
- ・様々な困難な中で働いておられる医療従事者のために。
- ・生活に不安を覚えておられる方、生きる希望を見失っている方のために。
- ・外に自由に出ることもできない子どもたちのために。
- ・家から出ることができずに孤独を感じている人のために。
- ・わたしたちが心に覚える（ さん）のために。

お祈りをしていきましょう。

主があなたを祝福し、あなたを守られるように。

主がみ顔をもってあなたを照らし、あなたを恵まれるように。

主がみ顔をあなたに向け、あなたに平安を賜るように。 **アーメン**